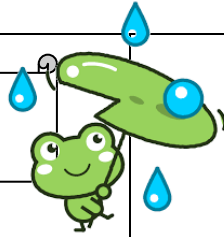


気管支喘息について No1

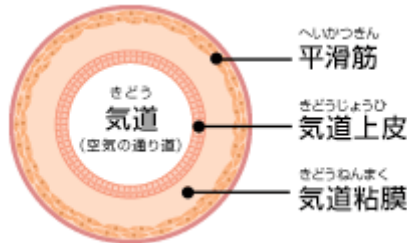


喘息は現代人に増えている病気

日本では、喘息の患者さんが増えており、1960年代では子供も大人も1%前後でしたが、最近の調査では子供は約6%と6倍、大人では約3%と3倍になっており、全体では400万人を超えています

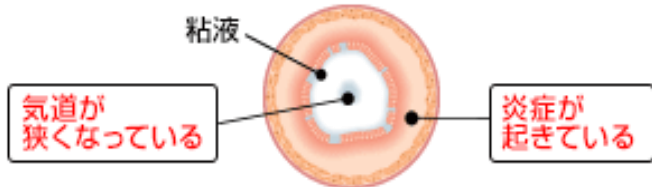
喘息のもととは気道の炎症

① 健康な人の気道



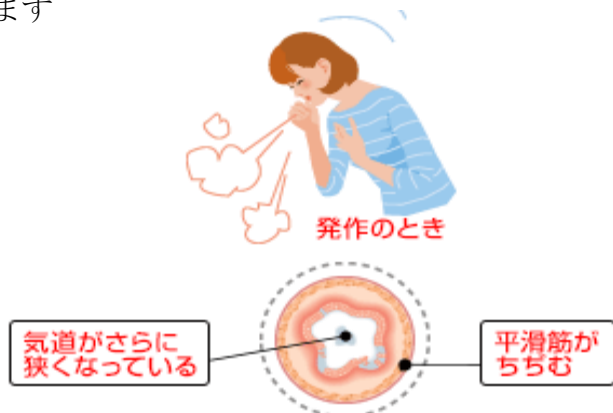
② 喘息の人の気道

症状がないときも炎症がおこっており、気道上皮がはがれ落ちて敏感になっています



③ 発作の時の気道

炎症がある気道に刺激が加わると、気道が狭くなり、痰などの分泌物が増えます。そのため呼吸が苦しくなり、息をするたびにゼーゼー、ヒューヒューという音が聞こえたり、激しく咳き込んだりします



話題の新薬 レキサルティ錠

抗精神用剤

大塚製薬は、抗精神用剤「レキサルティ錠1・2mg」を販売した。本剤は、アリピプラゾール（商品名：エビリファイなど）の構造変換の過程で発見された化合物であり、アリピプラゾールと比べてセロトニン系への作用が強く、ドパミン D2 受容体に対する刺激作用が弱いなどの特徴を有する。統合失調症の薬物治療においては、定型抗精神病剤と比べて錐体外路障害などの副作用が少ない非定型抗精神病剤の使用が主流となっており、本剤も新たな治療選択肢となると考えられている。通常、成人には1日1回1mg から投与を開始した後、4日以上の間隔をあけて増量し、1日1回2mg を経口投与する

薬価	1mg	1錠=268.9円
	2mg	1錠=509.2円

副作用情報 スイニー錠

興和創薬から販売されている DPP-4 阻害薬の「スイニー錠 100mg」は、直近3年8か月の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「急性膵炎関連症例」が2例（うち死亡0例）報告された。そのため重大な副作用の項に「急性膵炎」が追記された。

指に光当て血糖値測定

指に光を当てるだけで血糖値を測定できる技術を開発したと、量子科学技術研究開発機構のチームが発表した。糖尿病の患者が針を刺す採血の痛みを感じることなく、手軽に血糖値を調べる測定器の実現につながる。5年後の一般向け販売を目指している。チームは血液中の糖「グルコース」だけを捉える光の発生装置を小型化して応用した。電源部分を除く試作品は縦15センチ、横10センチ、高さ5センチ。光を発するくぼみに指を置くと5秒で計測できる。将来はスマートフォンのサイズまで小さくする。販売価格は高額になりそうで、月1万2千円程度で貸し出すレンタル方式も想定している。

